

2016年第4四半期の国民所得統計及び2017年予測

2017年2月15日 行政院主計総処発表

I 概要

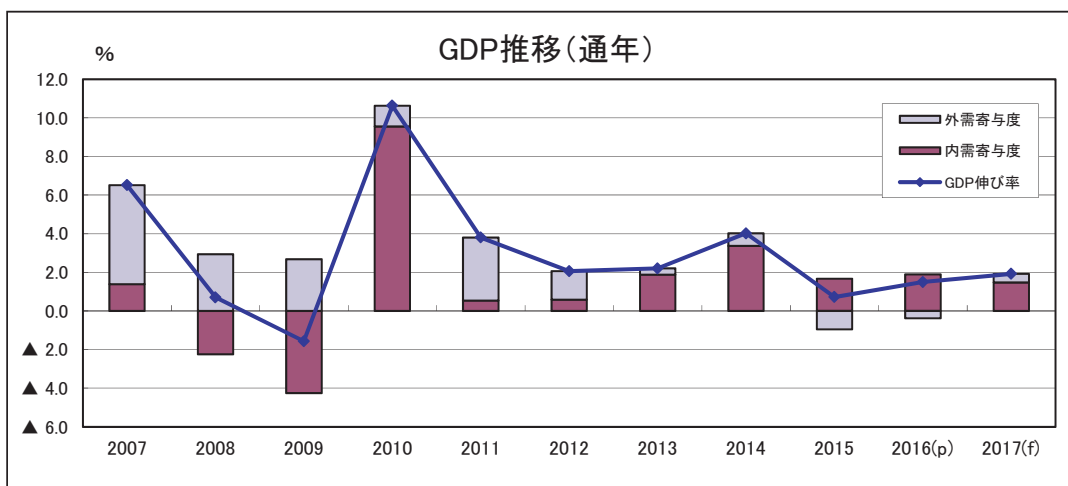
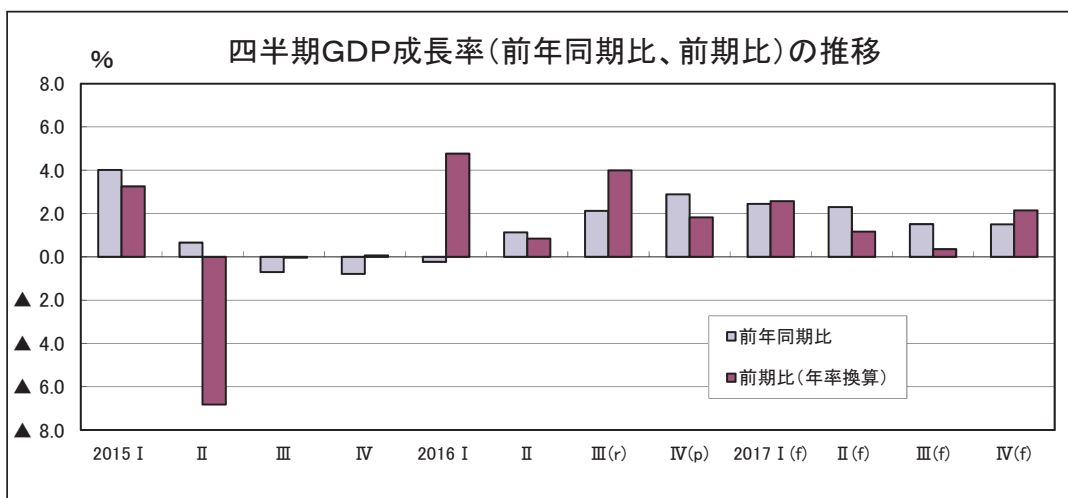
行政院主計総処は2月15日、2016年第3四半期の国民所得統計の修正、第4四半期の国民所得統計速報値、及び2017年の経済見通しなどを発表した。概要は以下のとおり。

- 一、2016年第4四半期の経済成長率速報値は対前年同期比+2.88%、2017年1月概算値+2.58%から0.30%ポイントの上方修正となった。また第3四半期は+2.12%(元+2.03%)に修正。
- 二、2016年上半期(第1・2四半期の経済成長率はそれぞれ▲0.23%、+1.13%)と併せた2016年通年の経済成長率は+1.50%となり、

- 今年1月概算値+1.40%から0.10%ポイントの上方修正となった。一人当たりGDPは2万2,530米ドル、CPIは+1.40%の上昇となった。
- 三、2017年の経済成長率は+1.92%となる見通しであり、2016年11月予測値+1.87%から0.05%ポイントの上方修正。一人当たりGDPは2万3,827米ドル、CPIは+1.08%の上昇となる見通し。

II 国民所得統計及び予測

- 一、2016年第4四半期及び通年の経済成長速報値
 - (一) 2016年第4四半期GDP
 - 2016年第4四半期の実質GDP対前年同期



比 (yoy) 速報値は + 2.88% となり、また季節調整後の前期比 (saqr) は + 0.45%、その年率換算値 (saar) は + 1.82% となった。対前年同期比は 2017 年 1 月概算値 + 2.58% から 0.30% ポイント増加し、2016 年 11 月の予測値 + 2.37% から 0.51% ポイント増加した。

1. 外需面

- (1) 主要貿易パートナーの経済回復が堅調となり、国際農工原材料価格が次々と上昇し、半導体への需要が拡張し、加えて基準値が低かったことなどの影響を受け、第 4 四半期の輸出 (米ドルベース) は前年同期比 + 11.73% (台湾元ベースは + 8.55%) と 2011 年第 4 四半期以来の最高となった。主要貨物の輸出の多くが増加し、うち電子部品業が + 21.86% と最大の増加幅となったほか、情報通信産品、基本金属、機械、光学器材、及び石油商品などの増加幅も 1 割超となった。また、第 4 四半期の中国大陸観光客は▲ 40.39% と引き続き減少したものの、その他外国観光客は前年同期比 + 17.47% の増加となり、両方合わせた外国人観光客全体は▲ 3.99% の減少となったことに加え、三角貿易 (台湾受注、中国出荷) による純利益の減少がサービスの輸出幅を大きく抑制したことから、物価要因 (輸出物価指数▲ 1.95%) を控除した商品及びサービスの実質輸出は + 8.02% となった (昨年 11 月予測値 + 5.85% から 2.17% ポイントの増加)。
- (2) 輸入については、輸出の増加に伴う輸入需要の増加、国際原油及び基本金属価格が上昇し、半導体業者による資本設備の拡大から、第 4 四半期の商品輸入 (米ドルベース) は + 11.54% (台湾元ベースは + 8.38%) となり、サービス輸入を計上し、物価要因を控除した商品及びサービスの実質輸入は + 9.58% となった (昨年 11 月予測値 + 6.05% から 3.53% ポイントの増加)。
- (3) 輸出と輸入を相殺した、外需全体の経済成長率に対する寄与度は + 0.21% ポ

イントとなった。

2. 内需面

- (1) 第 4 四半期は、自動車販売の好調、新車のプレート申請の増加 (+ 6.73%) が石油商品の安定成長をもたらしたものの、衣類・服飾、家具設備などの消費は天候温暖化の影響を受け、軒並み減少し、加えてモバイル装置の販売減少から、小売業全体の売上額は + 1.66% となり、物価要因 (商品類 CPI + 3.20%) を控除した小売業実質成長はマイナス成長となった。主要サービス消費のうち、飲食レストラン業売上額は + 5.44% となり、物価要因 (CPI 外食価格 + 1.30%) を控除した飲食レストラン業実質成長は + 4.14% と、2012 年第 1 四半期以来の最高となった。台湾人出国者数は + 6.64% だったものの、伸びが緩やかとなった。株取引高の減少幅は▲ 25.02% に拡大した。第 4 四半期の民間消費速報値は対前年同期比実質成長率 + 1.62% (昨年 11 月予測値 + 1.06% から 0.56% ポイントの増加) となり、全体の経済成長率への寄与度は + 0.88% ポイントとなった。政府消費は中央政府が予算を積極的に執行していることから、第 4 四半期は + 0.95% と、全体の経済成長率への寄与度は + 0.11% ポイントとなった。
- (2) 民間投資については、建設投資が引き続き減少しているものの、国内半導体業者が持続的に先端の生産設備を拡大し、また航空業者による航空機の輸入増加から、第 4 四半期の資本設備輸入は台湾元ベースで + 26.69% となり、知的財産を併せた民間固定投資全体では + 7.24% の成長となった。政府投資 (+ 6.54%)、公営事業投資 (+ 2.32%)、また実質在庫調整の 52 億元の減少と併せた第 4 四半期の実質資本形成の成長は + 8.13% (昨年 11 月予測値 + 6.87% から 1.26% ポイントの増加) となり、経済成長率全体への寄与度は 1.68% ポイントとなった。
- (3) 以上の各項目の結果、第 4 四半期の内

需全体の経済成長率は+ 3.05%、経済成長率全体への寄与度は+ 2.67%ポイントとなった。

3. 生産面

(1) 農産品が天候不順及び台風の襲来の遅れの影響を受け、稲や園芸作物の収益が激減したため、第4四半期の農産品生産速報値は▲4.54%とマイナス成長、経済成長率への寄与度は▲0.08%ポイントとなった。

(2) 工業生産の成長は+ 5.67%となり、うちスマート科学技術応用の拡大が電子部品業の持続的増産をもたらし、加えて鋼鉄業の市況が回復したことから、第4四半期の製造業生産指数は+ 7.79%と2015年第1四半期以来最大の増加幅となり、第4四半期の製造業実質成長率速報値は+ 6.16%、経済成長率への寄与度は+ 1.80ポイントとなった。建築業は不動産市場の低迷及び雨量過多の影響を受け、生産活動が引き続き縮減したため、第4四半期の実質成長率は▲2.03%、経済成長率への寄与度は▲0.04%ポイントとなった。

(3) サービス業については、卸売業が対外貿易の活況及び自動車の販売好調により、売上額は+ 2.95%となり、小売業(売上額+ 1.66%)と併せた卸売小売業全体の实質成長率は+ 3.36%、経済成長率への寄与度は+ 0.57%ポイントとなった。製造業景気の持続的回復に加え、業者が旧正月向けに前倒して出荷したことから、第4四半期の貨物運輸ニーズが大幅に増加し、また連休に伴う航空、新幹線の客運量が引き続き成長したことから、第4四半期の運輸及び倉庫業の实質成長率は+ 8.59%、経済成長率への寄与度は+ 0.25%ポイントとなった。

(二) 2016年経済成長速報値

1. 2016年第3四半期は、各種の主要経済指標に基づき修正を行ったところ、対前年経済成長率同期比(yoy)は+ 2.12%となり、2016年11月予測値+ 2.03%から+ 0.09

ポイントの上方修正となり、これは主に中央銀行による国際収支(BOP)、各級政府の実際の収支データ、及び経済部による「製造業投資及び運営概況調査」などの最新資料に基づいて修正を行ったことによるものである。季節調整後の前期比成長率(saqr)は+ 0.98%、年率換算値(saar)は+ 3.99%となった。

2. 第3、4四半期を合計した2016年下半期の経済成長率は+ 2.50%となり、上半期の成長率+ 0.46%(第1四半期▲0.23%、第2四半期+ 1.13%)と併せた2016年通年の経済成長率は+ 1.50%となり、2017年1月概算値から0.10%ポイント増加し、2016年11月予測値+ 1.35%から0.15%ポイント増加した。

二、2017年の経済展望

(一) 国際経済情勢

1. IHSグローバルインサイトの1月最新世界経済展望によると、2017年の世界経済成長率は+ 2.8%(2016年11月予測と同様)と2016年の経済成長率+ 2.5%(0.1%ポイントの上方修正)を上回ったものの、6年間連続して3%を下回り、うち先進経済国は+ 1.9%(0.2%ポイントの上方修正)、新興経済国は+ 4.4%(0.1%ポイントの下方修正)と、成長力が2016年より強まると見込まれている。

2. 米国経済は、労働市場の改善が民間消費の持続的拡大をもたらし、企業投資も積極的となったことから、今年の経済成長は+ 2.3%と穏やかな成長となる見通しである(0.1%ポイントの上方修正)。トランプ大統領の貿易経済政策後の衝撃について観察する必要があるが、IHSグローバルインサイトは、財政政策の刺激効果は2018年まで反映してくるだろうとみている。

3. ユーロ圏は引き続き金融緩和政策が景気を振興させるものの、イギリスのEU離脱問題、オランダ、フランス、ドイツの国会及び総理改選に伴う政治及び経済の不確定要素が依然として高まっており、企業及び消費者のマインドを弱めることから、2017

年の EU 諸国の経済成長率は + 1.6% (0.2%ポイントの上方修正、イギリスを含まない場合 + 1.6%、0.1%ポイントの上方修正) となり、うちイギリスは + 1.4% (0.2%ポイントの上方修正)、ドイツは + 1.9% (0.2%ポイントの上方修正) となる見通し。

4. 中国大陸は経済構造の調整及び刺激策の実施を持続し、成長の大幅な緩みを防ぐことから、2017年は + 6.5%の経済成長率予測 (0.2%ポイントの上方修正) となり、韓国は + 2.7% (横ばい)、香港は + 1.8% (0.1%ポイントの上方修正)、シンガポールは + 1.5% (0.3%ポイントの下方修正) の成長となる見通し。

(二) 2017年の国内経済予測

2017年の経済成長率は + 1.92%で、昨年11月予測値から 0.05%ポイントの上方修正となる見通しであり、主因は外需の旺盛さ、及び政府の景気振興策により、内需の漸次回復が望めることによるものである。

1. 対外貿易

(1) 主要国際機構の予測によると、2017年の世界経済成長率は昨年を上回り、国際通貨基金 (IMF) は世界貿易量予測を + 1.9%から + 3.8%に拡大し、国内半導体製造業の先端製造工程の優勢、車用の電子、IOT (物のインターネットワーク)、及び高性能コンピューティング (HPC) など新たな需要が拡大し、輸出の増加の

押し上げが望め、また国際農工原材料価格の上昇も名目輸出額を押し上げる。ただし、国際産業の競争がより厳しくなり、世界貿易保護主義が強まり、中国での現地サプライチェーンの拡大による排他圧力が持続し、成長幅を縮める恐れがあることから、2017年の商品輸出は 3.042 億米ドル、前年比 + 8.50%となる見通しであり、商品とサービスを合計し、物価要因を控除した 2017年の実質輸出成長率は + 4.01%となる見通し (昨年 11 月予測値から 0.18%ポイントの上方修正)。

(2) 輸入については、原材料価格の上昇や輸出増に伴う輸入需要増加の影響を受け、2017年の米ドルベースでの商品輸入は 2,534 億米ドル、+ 9.77%となる見通しであり、商品とサービス合計し、物価要因を控除した 2017年の実質輸入成長率は + 4.07% (0.22%ポイントの上方修正) となる見通し。

2. 民間消費

国内景気の回復、基本賃金の引き上げ、及び車両貨物税減税策など各項目の振興措置が次々に実施され、国内消費力を持ち上げるものの、物価上昇が一部成長力を抑制することから、2017年の民間消費実質成長率は + 1.75% (0.01%ポイントの上方修正) となる見通し。

3. 固定投資

(1) 民間投資については、製造工程の先端

	商品貿易年増率 (通関ベース、%)		貿易黒字 (億米ドル)	商品・サービス貿易の実質 成長率 (台湾元ベース%)		商品・サービ ス貿易収支 (億米ドル)
	輸出	輸入		輸出	輸入	
2013年	1.64	0.25	334	3.50	3.40	476
2014年	2.78	1.38	382	5.86	5.67	548
2015年	▲10.86	▲15.83	481	▲0.34	1.19	677
2016年 (p)	▲1.73	▲2.67	495	2.12	3.39	640
第 1 期	▲12.11	▲13.99	122	▲3.88	▲1.39	161
第 2 期	▲6.23	▲7.64	119	0.21	▲0.29	149
第 3 期 (r)	0.11	▲0.10	119	3.66	5.34	148
第 4 期 (p)	11.73	11.54	136	8.02	9.58	182
2017年 (f)	8.50	9.77	508	4.01	4.07	666

	民間消費名目金額 (億元)		実質成長率 (%)
		年増率 (%)	
2013年	82,484	2.65	2.34
2014年	85,887	4.13	3.44
2015年	87,607	2.00	2.68
2016年(p)	90,210	2.97	2.14
第1期	22,425	3.46	2.64
第2期	22,236	2.58	1.59
第3期(r)	22,802	3.16	2.70
第4期(p)	22,746	2.69	1.62
2017年(f)	92,500	2.54	1.75

優位性や、スマート化への応用などのビジネスチャンスが維持され、半導体及び関連業者のハイエンド生産への投資が引き続き行われることが望めることに加え、政府が積極的に投資環境を改善し、「五+二創新発展計画」の執行、航空業者の航空機購入の拡大などが成長の原動力の維持にプラスとなるものの、不動産市場の低迷からの反転が難しく、昨年基準値の上方修正の影響もあることから、2017年の民間投資実質成長率は+1.85%（0.15%ポイントの下方修正）となる見通し。

- (2) 公共投資については、政府が積極的に建設計画を執行し、各部署及び国営事業の予算執行の強化を持続的に督促することから、2017年の政府及び公営事業の名目投資額はそれぞれ+1.92%、+2.87%

と設定し、民間投資を加え物価要因を控除した2017年の固定投資実質成長率は+1.80%となる見通し。

4. 物価

- (1) 主要国際機構予測を参考とし、2017年のOPECバスケット原油価格を1バレル=53.5米ドルと設定、2016年11月予測値と比べて6米ドル上げた。また、最近のその他主要国際農工原材料価格が引き続き高水準で推移していることから、2017年の卸売物価指数(WPI)は+1.53%となる見通し(0.68%ポイントの上方修正)。

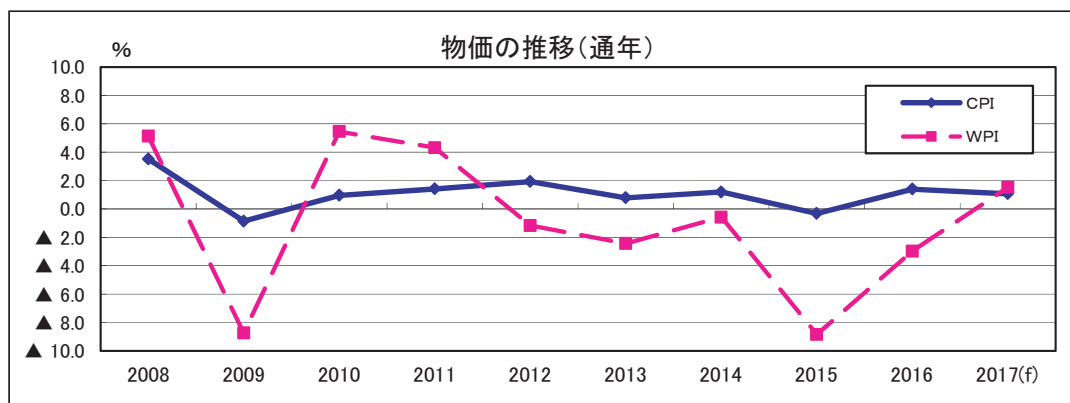
- (2) CPIは、青果類の耕作が回復し、供給量が増加し、食物類価格が徐々に回復するものの、ガソリン代は国際石油価格の持続的上昇の影響を受け上昇しており、加えて労働新制度関連政策の実施後、国内サービス業及び外食価格などの物価の上昇を押し上げることから、2017年のCPIは+1.08%（0.33%ポイントの上方修正）となる見通し。

5. 以上を総合すると、2017年通年の経済成長率は+1.92%で、一人当たりGDP及びGNIは、それぞれ2万3,827米ドル及び2万4,607米ドル、CPIは+1.08%となる見通し。

(三) 主要な不確定要素

1. 米トランプ政府の政策動向による世界貿易経済及び金融市場への影響。
2. 中国大陸のサプライチェーンの現地化、

	固定投資名目金額(億元)				固定投資実質成長率(%)			
		民間	政府	公営事業		民間	政府	公営事業
2013年	33,787	26,859	4,925	2,004	5.30	7.09	▲2.79	2.99
2014年	34,938	28,207	4,622	2,110	2.05	3.58	▲7.52	4.95
2015年	34,928	28,615	4,405	1,908	1.64	2.97	▲2.41	▲7.21
2016年(p)	35,939	29,598	4,454	1,887	2.71	3.12	1.72	▲1.93
第1期	8,423	7,337	814	272	▲0.12	0.22	▲1.70	▲5.07
第2期	8,648	7,144	1,019	484	0.16	1.16	▲5.09	▲2.50
第3期(r)	9,440	7,947	1,092	401	3.66	3.99	4.65	▲6.39
第4期(p)	9,428	7,170	1,528	729	6.81	7.24	6.54	2.32
2017年(f)	36,822	30,341	4,540	1,941	1.80	1.85	1.21	2.42



経済構造の調整、及び兩岸関係による台湾への影響。

の推進の状況。

3. 政府による投資拡大及び五+二産業政策

4. 国際原油及び原材料価格の動向。

(以上)

内需・外需寄与度 (対前期比、年率換算)

(単位：%)

	GDP	国内需要				国外需要	
		民間消費	政府消費	固定資本形成	輸出	輸入	
2013							
I	▲1.20	8.07	4.65	▲3.45	25.94	▲0.41	13.37
II	4.03	▲1.63	3.28	▲0.38	▲13.22	5.11	▲2.94
III	3.18	1.11	1.43	▲2.16	2.56	2.07	▲1.03
IV	6.08	9.56	7.52	0.36	21.33	5.46	10.43
2014							
I	2.37	4.01	0.56	17.32	4.40	5.03	7.96
II	5.07	0.21	4.12	▲4.42	▲5.77	10.03	3.27
III	4.58	5.95	4.83	3.60	10.36	9.16	12.02
IV	2.03	2.45	2.49	3.89	1.41	0.11	0.42
2015							
I	3.25	▲1.87	2.24	▲13.73	▲3.49	4.65	▲2.76
II	▲6.82	8.14	4.18	12.17	15.73	▲15.98	3.44
III	▲0.03	▲4.53	▲3.22	▲0.27	▲10.24	0.34	▲6.41
IV	0.07	3.92	7.12	6.99	▲5.51	0.47	6.48
2016							
I	4.77	0.62	2.03	7.41	▲7.43	▲0.67	▲8.00
II	0.84	4.00	1.15	▲5.21	19.16	3.62	10.00
III (r)	3.99	3.84	1.20	4.88	10.02	13.21	15.19
IV (p)	1.82	2.39	1.88	▲5.00	8.89	16.90	21.68
2017							
I (f)	2.57	▲0.85	2.15	▲0.92	▲7.77	▲2.23	▲8.51
II (f)	1.16	0.52	1.83	4.77	▲5.38	▲2.12	▲3.93
III (f)	0.36	2.94	1.57	0.85	7.99	0.92	5.51
IV (f)	2.14	4.11	1.60	4.72	10.19	2.13	5.49

(出所) 行政院主計総処 2017年2月15日発表 r: 修正値、p: 速報値、f: 予測値
 (注) ▲はマイナス。外需のマイナス(▲)の寄与度は、GDPに対してはプラスの寄与度となる。

內需・外需寄与度 (对前年同期比)

(单位: %)

	GDP		国内需要				民間消費				政府消費				固定資本形成				民間投資				公營事業投資				政府投資				国外需要					
	成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度		成長率		寄与度	
2006	5.62	1.41	1.36	1.79	1.01	▲0.63	▲0.10	1.52	0.37	4.57	0.84	▲7.73	▲0.14	▲8.00	▲0.33	4.26	11.38	6.90	4.66	2.63																
2007	6.52	1.83	1.38	2.42	1.33	2.20	0.32	1.14	0.28	1.88	0.35	2.20	0.03	▲2.80	▲0.11	5.14	10.45	6.87	2.89	1.73																
2008	0.70	▲2.44	▲2.24	▲1.69	▲0.91	1.54	0.22	▲11.13	▲2.66	▲14.15	▲2.64	▲1.98	▲0.03	0.44	0.02	2.94	0.55	0.39	▲4.13	▲2.55																
2009	▲1.57	▲4.51	▲4.25	0.01	0.01	3.22	0.49	▲8.81	▲2.04	▲15.32	▲2.66	2.37	0.04	14.07	0.58	2.68	▲8.42	▲5.91	▲13.22	▲8.59																
2010	10.63	10.29	9.56	3.76	2.08	1.05	0.17	19.31	4.12	27.63	4.13	7.49	0.13	▲2.92	▲0.13	1.07	25.67	15.50	28.03	14.44																
2011	3.80	0.57	0.53	3.12	1.65	1.95	0.29	▲1.15	▲0.27	1.20	0.21	▲13.44	▲0.24	▲5.78	▲0.24	3.27	4.20	2.98	▲0.46	▲0.29																
2012	2.06	0.63	0.59	1.82	0.99	2.16	0.33	▲2.61	▲0.61	▲0.35	▲0.06	▲7.42	▲0.11	▲10.95	▲0.44	1.47	0.41	0.30	▲1.78	▲1.18																
2013	2.20	2.03	1.88	2.34	1.28	▲0.79	▲0.12	5.30	1.18	7.09	1.24	2.99	0.04	▲2.79	▲0.10	0.32	3.50	2.46	3.40	2.14																
2014	4.02	3.71	3.37	3.44	1.86	3.66	0.54	2.05	0.46	3.58	0.63	4.95	0.07	▲7.52	▲0.24	0.65	5.86	4.07	5.67	3.42																
I	3.84	2.88	2.66	3.06	1.71	4.15	0.60	2.60	0.57	3.25	0.56	14.22	0.16	▲6.77	▲0.15	1.18	4.37	3.02	3.14	1.84																
II	4.31	3.81	3.46	3.67	1.99	2.53	0.37	2.14	0.47	4.62	0.83	▲14.55	▲0.18	▲5.66	▲0.17	0.86	4.73	3.31	4.08	2.45																
III	4.39	4.98	4.51	4.16	2.24	3.81	0.56	3.69	0.82	4.67	0.82	19.61	0.22	▲6.98	▲0.22	▲0.12	7.49	5.18	8.84	5.29																
IV	3.56	3.15	2.83	2.86	1.51	4.12	0.62	▲0.12	▲0.02	1.66	0.33	5.50	0.07	▲9.68	▲0.41	0.72	6.67	4.65	6.53	3.93																
2015	0.72	1.86	1.67	2.68	1.43	▲0.26	▲0.04	1.64	0.36	2.97	0.52	▲7.21	▲0.09	▲2.41	▲0.07	▲0.95	▲0.34	▲0.24	1.19	0.71																
I	4.01	1.58	1.44	3.52	1.95	▲2.96	▲0.42	▲0.25	▲0.06	1.59	0.29	▲28.76	▲0.30	▲2.35	▲0.05	2.57	6.13	4.19	2.71	1.61																
II	0.66	3.64	3.26	3.63	1.94	0.79	0.11	0.93	0.20	▲0.07	▲0.01	21.95	0.23	▲0.50	▲0.01	▲2.59	▲1.23	▲0.86	2.91	1.73																
III	▲0.70	0.86	0.77	1.20	0.64	0.16	0.02	3.78	0.82	6.10	1.08	▲5.72	▲0.06	▲7.09	▲0.20	▲1.47	▲2.92	▲2.05	▲0.95	▲0.57																
IV	▲0.79	1.42	1.27	2.42	1.26	0.72	0.10	1.98	0.42	4.32	0.68	▲12.00	▲0.25	▲0.23	▲0.01	▲2.06	▲2.59	▲1.86	0.29	0.20																
2016(p)	1.50	2.16	1.89	2.14	1.12	3.05	0.43	2.71	0.56	3.12	0.54	▲1.93	▲0.02	1.72	0.05	▲0.38	2.12	1.36	3.39	1.75																
I	▲0.23	1.82	1.59	2.64	1.36	6.34	0.86	▲0.12	▲0.00	0.22	0.01	▲5.07	▲0.01	▲1.70	▲0.00	▲1.83	▲3.88	▲2.51	▲1.39	▲0.69																
II	1.13	0.85	0.70	1.59	0.82	2.03	0.29	0.16	0.03	1.16	0.19	▲2.50	▲0.03	▲5.09	▲0.13	0.43	0.21	0.16	▲0.29	▲0.27																
III(r)	2.12	2.89	2.51	2.70	1.42	3.37	0.47	3.66	0.75	3.99	0.69	▲6.39	▲0.06	4.65	0.12	▲0.39	3.66	2.37	5.34	2.77																
IV(p)	2.88	3.05	2.67	1.62	0.88	0.95	0.11	6.81	1.42	7.24	1.23	2.32	0.01	6.54	0.18	0.21	8.02	5.16	9.58	4.96																
2017(f)	1.92	1.67	1.47	1.75	0.92	0.34	0.05	1.80	0.38	1.85	0.32	2.42	0.03	1.21	0.03	0.45	4.01	2.52	4.07	2.07																
I (f)	2.45	2.34	2.08	1.68	0.93	▲1.71	▲0.24	3.08	0.62	3.19	0.56	2.77	0.02	1.99	0.05	0.36	7.75	4.75	8.82	4.39																
II (f)	2.29	1.43	1.27	1.76	0.94	0.68	0.09	2.83	0.59	2.88	0.49	3.03	0.03	2.31	0.06	1.03	6.12	3.80	5.50	2.77																
III (f)	1.51	1.18	1.05	1.75	0.92	▲0.19	▲0.03	1.06	0.23	1.00	0.18	2.31	0.02	0.96	0.03	0.46	3.28	2.06	3.15	1.60																
IV (f)	1.50	1.75	1.51	1.81	0.91	2.30	0.34	0.49	0.10	0.42	0.07	1.97	0.03	0.25	0.00	▲0.01	▲0.24	▲0.26	▲0.36	▲0.25																

(出所) 行政院主計總處 2017年2月15日發表 r: 修正値, p: 速報値, f: 予測値

重要経済指標行政院主計総処 2017年2月15日発表

	経済成長率(実質 GDP) (%)			一人当たり GDP		一人当たり GNP		消費者物価 上昇率 (%)	卸売物価 上昇率 (%)	名目 GDP (百万台湾元)
	前年 同期比	前期比 (年率換算)	前期比	台幣元	米ドル	台幣元	米ドル			
2004年	6.51	-	-	514,405	15,388	530,835	15,879	1.61	7.03	11,649,645
2005年	5.42	-	-	532,001	16,532	544,798	16,930	2.30	0.61	12,092,254
2006年	5.62	-	-	553,851	17,026	567,508	17,446	0.60	5.63	12,640,803
2007年	6.52	-	-	585,016	17,814	599,536	18,256	1.80	6.47	13,407,062
2008年	0.70	-	-	571,838	18,131	585,519	18,564	3.52	5.14	13,150,950
2009年	▲1.57	-	-	561,636	16,988	579,574	17,531	▲0.86	▲8.73	12,961,656
2010年	10.63	-	-	610,140	19,278	628,706	19,864	0.96	5.46	14,119,213
2011年	3.80	-	-	617,078	20,939	633,822	21,507	1.42	4.32	14,312,200
2012年	2.06	-	-	631,142	21,308	650,660	21,967	1.93	▲1.16	14,686,917
2013年	2.20	-	-	652,429	21,916	670,585	22,526	0.79	▲2.43	15,230,739
2014年	4.02	-	-	688,434	22,668	708,540	23,330	1.20	▲0.57	16,111,867
第1季	3.84	2.37	0.59	165,172	5,441	172,469	5,680	0.80	0.07	3,862,258
第2季	4.31	5.07	1.24	167,818	5,565	172,984	5,735	1.63	0.68	3,925,676
第3季	4.39	4.58	1.13	174,876	5,817	179,064	5,957	1.51	0.01	4,093,475
第4季	3.56	2.03	0.50	180,568	5,845	184,023	5,958	0.84	▲3.02	4,230,458
2015年	0.72	-	-	714,277	22,384	738,097	23,131	▲0.31	▲8.84	16,759,016
第1季	4.01	3.25	0.80	179,105	5,669	186,877	5,916	▲0.59	▲8.51	4,198,871
第2季	0.66	▲6.82	▲1.75	173,451	5,597	177,071	5,714	▲0.70	▲9.41	4,068,742
第3季	▲0.70	▲0.03	▲0.01	179,370	5,568	184,806	5,738	▲0.26	▲9.47	4,209,316
第4季	▲0.79	0.07	0.02	182,351	5,550	189,343	5,763	0.33	▲7.99	4,282,087
2016年(p)	1.50	-	-	727,818	22,530	753,565	23,325	1.40	▲2.97	17,111,263
第1季	▲0.23	4.77	1.17	181,342	5,438	189,683	5,688	1.75	▲4.99	4,260,531
第2季	1.13	0.84	0.21	176,429	5,439	181,330	5,590	1.34	▲3.27	4,146,530
第3季(r)	2.12	3.99	0.98	182,373	5,748	188,477	5,940	0.71	▲3.42	4,288,301
第4季(p)	2.88	1.82	0.45	187,674	5,905	194,075	6,107	1.79	▲0.11	4,415,901
2017年(f)	1.92	-	-	741,183	23,827	765,495	24,607	1.08	1.53	17,461,748
第1季(f)	2.45	2.57	0.64	184,551	5,900	192,628	6,158	1.07	1.54	4,344,708
第2季(f)	2.29	1.16	0.29	179,824	5,791	184,731	5,949	1.17	1.30	4,235,096
第3季(f)	1.51	0.36	0.09	186,535	6,008	191,858	6,179	1.46	2.34	4,395,496
第4季(f)	1.50	2.14	0.53	190,273	6,128	196,278	6,321	0.61	0.97	4,486,448

r: 修正値、p: 速報値、f: 予測値